CboX
取扱説明書

http://www.corega.co.jp/

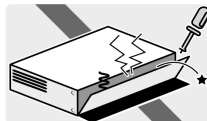
PN J613-M7138-00 Rev.A 020614

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

雷のときは
さわらない

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

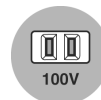
ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となります。

設置場所
注意

交流１００Ｖの電源でお使いください

異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

電圧注意

電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

・加工しない、傷つけない。
・重いものを載せない。
・暖房器具に近づけない、加熱しない。
・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

傷つけない

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

プラグを抜け

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度８０%以下の環境でご使用ください）
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。
部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないで下さい。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな

中性洗剤使用

堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

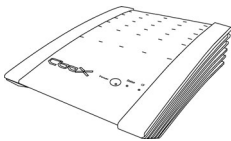
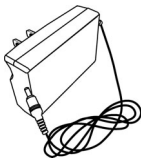
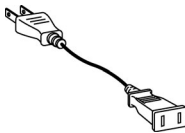
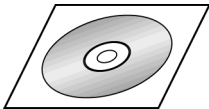
シンナー類不可

はじめに

この度は、「corega CboX」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は本製品を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いします。

■内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです。（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります。）お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたらお手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

・corega CboX 本体

・専用ＡＣアダプタ

・延長用電源ケーブル

・ユーティリティーＣＤ（１枚）

・取扱説明書（本書：製品保証書もかねております）

・シリアル番号シール

■取扱説明書について

本製品の取扱説明書の主な流れを説明します。

1 製品概要

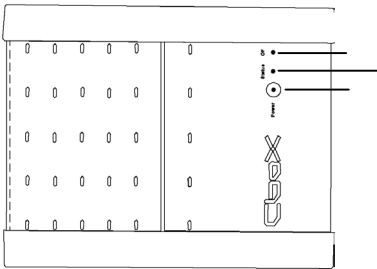
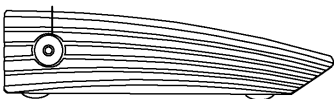
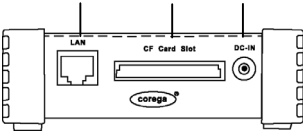
本製品は、ADSL/CATV 常時接続環境にて、プロバイダの用意するサーバを利用しなくても簡単に個人用ホームページを開設することを実現したサーバです。ホームページを作成するためには、本製品付属の WebWizard を利用することでホームページを作成したことがない方でも、簡単にホームページを作成できます。また、すでに市販のツールにて作成したホームページデータをお持ちの場合は、製品付属の UserPack を利用することで、本製品用のデータに変換することができます。

- ホームページ作成ツール（WebWizard）、ホームページデータ変換ツール（UserPack）を標準添付
- ホームページ機能、チャット機能、掲示板機能、アクセスカウンタ機能
- ブロードバンドルータ（corega BAR SW-4P/BAR SW-4P Pro）のバーチャルサーバー機能により、ADSL/CATV 常時接続環境からのアクセスをサポート（ポート 80 固定）
- ドメイン名の解決に、操作性を考慮したダイナミック DNS 機能搭載

1.1 各部の名称と機能

（上面）

（側面）

（背面）

① CF（黄）
コンパクトフラッシュカードへの書き込み時に点灯します。

② Status（緑）
パケットを受信すると点滅します。

③ Power（赤）
本体に電源が供給されているときに点灯します。

状態	Power(赤)	Status(緑)	CF(黄)
電源 ON	点灯	パケット受信で点滅	消灯
アップロード可能モード	点滅	点滅	消灯
コンパクトフラッシュカードアクセス中	点灯	パケット受信で点滅	点灯
エラー	点灯	点灯	点灯

④ テストスイッチ
本体の工場出荷時設定への初期化、アップロード可能モード（ホームページデータのアップロード、本体設定）、コンパクトフラッシュフォーマットを行うときに使用します。

- 本体の工場出荷時設定への初期化方法
  →付録「C 工場出荷時設定への初期化」を参照してください。
- 本体の工場出荷時設定への初期化とコンパクトフラッシュカードのフォーマットを同時に行う方法
  →付録「C 工場出荷時設定への初期化」を参照してください。
- コンパクトフラッシュカードのフォーマット方法
  →「3.3 コンパクトフラッシュカードのフォーマット」を参照してください。
- アップロード可能モードへのモード変更方法
  →本製品の起動時にテストスイッチボタンを約 4 秒間押し続けてください。
  本体のランプの Power（赤）、Status（緑）が点滅するとアップロード可能モードの状態です。
  アップロード可能モードでホームページデータのアップロード及び本体設定が行えます。

⑤ LAN ポート（100BASE-TX/10BASE-T）
本製品と ADSL ルータとを UTP ケーブルで接続するための LAN ポート（RJ-45）です。

⑥ CF Card Slot
コンパクトフラッシュカード（別途、購入が必要です）を挿入します。

⑦ DC-IN
AC アダプタの DC プラグを接続するためのコネクターです。

1.2 使用環境

本製品は、次の使用環境に対応しています。

・接続環境
 ADSL/CATV などを利用したインターネット常時接続環境
・付属ユーティリティ対応 OS
 Windows98/Me/NT4.0/2000/XP（日本語版）
・対応ブラウザ（本体設定及び参照用）
 Internt Explorer(Ver4.01 以上)
 Netscape(Ver4.6 以上)

1.3 準備

本製品を使用するためには別途以下のものが必要です。

・コンパクトフラッシュカード（最大 256MB）
・ブロードバンドルータ
 推奨品：corega BAR SW-4P Pro/corega BAR SW-4P
・UTP ケーブル（カテゴリー５：ストレート）

2 インターネット公開するための準備

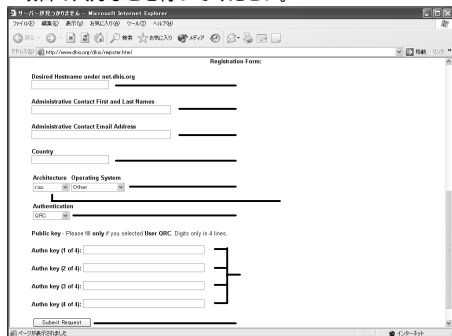
■環境

本製品を使用される前にパソコンとブロードバンドルータの設置及び設定が完了しており、メール及びインターネットが使用できる環境であることを確認してください。

【memo】作成したホームページをインターネットへ公開しないで LAN 内（ローカルでの使用）でご使用の場合は本章の作業は必要ありません。

2.1 ドメイン名の取得

作成したホームページをインターネットへ公開するためにはドメイン名の取得が必要です。
DHIS のサービス(http://www.dhis.org)を利用してドメイン名（例 cbox.net.dhis.org）の取得を行います。

(1)WWW ブラウザを起動してください。
次のいずれかの WWW ブラウザを用意してください。
・Microsoft Internet Explorer Ver.4.01 以上
・Netscape Navigator Ver.4.6 以上

(2)アドレス欄に以下の URL を入力して「Enter」キーを押してください。
http://www.dhis.org/dhis/register.html

(3)下図のような登録フォームのページが表示されるので各項目の入力などを行ってください。

①Desired Hostname under net.dhis.org：
ドメイン名（ホスト名）の以下の×の箇所にインターネット公開したい任意のサブドメイン名を半角英数字で入力してください。
「.net.dhis.org」は入力する必要はありません。

×××××.net.dhis.org
└ サブドメイン名　└ ドメイン名

例えば、ドメイン名を「cbox.net.dhis.org」としたい場合は「cbox」と入力します。

【memo】既に使用されているドメイン名であった場合、すべての項目の入力が完了後、「Submit Request」ボタンをクリックすると既に使用されいる旨のメッセージが表示されるので、この登録フォームに戻って別のサブドメイン名を入力してください。

②Administrative Contact First and Last Names：
ローマ字で氏名を入力してください。

③Administrative Contact Email Address：
メールアドレスを入力してください。
本製品の本体設定に必要なメールが送信されてくるので、必ず入力ミスの無いように、入力後に間違っていないか再確認してください。

④Country：
「Japan」と入力してください。

⑤Operating System：
プルダウンメニューから「Other」を選択してください。

⑥Architecture：
プルダウンメニューから「risc」を選択してください。

⑦Authentication：
プルダウンメニューから「QRC」を選択してください。

⑧Authn key(1 of 4)～(4 of 4)：
空欄のままで、入力する必要はありません。

(4)すべての項目の入力が完了後、⑨の「Submit Request」ボタンをクリックしてください。
「ドメイン名（ホスト名）は既に使用されている」等のエラーメッセージが表示されなければドメイン名の取得作業は完了です（下記のメッセージ例を参照）。
エラーメッセージが表示された場合はメッセージに従って、登録フォームに戻って入力し直してください。

【ドメイン取得の成功時のメッセージ例】
Thank you for submitting your application for **xxx.net.dhis.org**. Your request has been recorded and will be processed as soon as possible. Please be patient and allow a day or two for registration to be completed. An email with the required configuration parameters will be sent to **xxxxxx@xxx.xx.xx**.
上記メッセージの中で登録したドメイン名とメールアドレスを再確認してください。

【メールの受信】
ドメイン名の取得作業の完了後、1～4 日後ぐらいに以下のような内容のメールが届きます。
「4 本体設定（基礎）」で本体設定する際に必要ですのでメールの保存もしくは印刷などして保管してください。

（メール受信内容の 1 部分の例）

```
##################################################################
; DHIS(c) 1998-2001 Dynamic Host Information System Release 5.0
; DHIS(c) 5.0 Client Configuration File
; HostName: cbox.net.dhis.org
;
{
HostID    12345
AuthP     156307985736674178375484987929354471405502920137l5
AuthP     23303499545546216904506733299106811109911372573857
AuthQ     33554488015973513267290971811829192926684618132104
AuthQ     80486076012035293005307486555814656726939876028339
ISAddr    193.126.85.29
}
```

2.2 ルータの設定

作成したホームページをインターネットへ公開できるようにルータの本体設定を行います。
なお、本書ではブロードバンドルータとして BAR SW-4P/BAR SW-4P Pro（推奨品）を使用して説明します。

【memo】他製品のブロードバンドルータをご使用になる場合は、その製品のマニュアルをご参照になって以下のポート番号を CboX が使用できるようにルータの設定をしてください。
（ポート番号）
・80(TCP)
・123(UDP)
・58800(UDP)
・53(UDP)

■IP アドレス/DHCP の設定値

本書ではルータとパソコンの IP アドレスと DHCP 設定を以下に設定したものとして説明します。

【ルータ（BAR SW-4P/BAR SW-4P Pro）の設定値】
LAN 側の IP アドレス：192.168.1.1
DHCP：有効（使用する）
DHCP 開始アドレス：192.168.1.11
DHCP 終了アドレス：192.168.1.254
なお、この設定値は BAR SW-4P/BAR SW-4P Pro の工場出荷時設定です。

【パソコンの設定値】
DHCP：有効（IP アドレスを自動的に取得する）

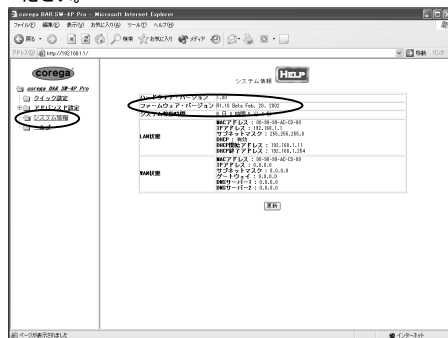
■バージョン確認

ブロードバンドルータ BAR SW-4P/BAR SW-4P Pro 本体のファームウェアのバージョンを確認します。

(1)WWW ブラウザーを起動してください。

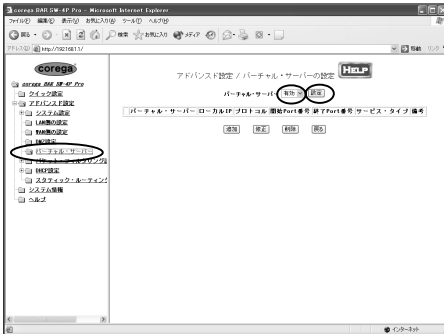
(2)アドレス欄にルータの IP アドレス(http://192.168.1.1)を入力して「Enter」キーを押してください。

(3)ユーザー名に“root”と入力し「OK」ボタンをクリックしてください。
ユーザー名とパスワードを変更されている場合は変更したものを入力してください。

(4)左側のフレームの「システム情報」をクリックしてください。
BAR SW-4P Pro の場合、“ファームウェアバージョン”が Ver1.10 以上であることを確認してください。
BAR SW-4P の場合、Ver1.20 以上であることを確認してください。

【バージョンが古い場合】
BAR SW-4P Pro の場合、CboX に付属している CD-ROM 内の「BAR SW-4P Pro」→「ファームウェア」→「Ver1.10」を使用してバージョンアップを行ってください。
また、BAR SW-4P の場合、「BAR SW-4P」→「ファームウェア」→「Ver1.20」を使用してバージョンアップを行ってください。
バージョンアップ方法については以下の URL を参照してください。
http://www.corega.co.jp/support/download/router_barfarm.htm

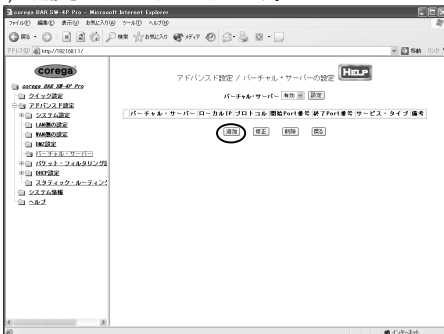
■ルータの本体設定

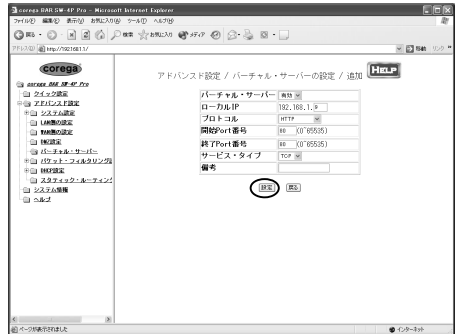
ここでは、CboX の IP アドレスは工場出荷時の値（192.168.1.9）を例に説明します。
特に変更する必要がない場合は、この IP アドレスで設定してください。

(1)左側のフレームの「アドバンスド設定」→「バーチャル・サーバー」をクリックしてください。

(2)“バーチャル・サーバー”の設定を「有効」に変更し、「設定」ボタンをクリックしてください。
確認ページが表示され、バーチャル・サーバ機能が有効になります。

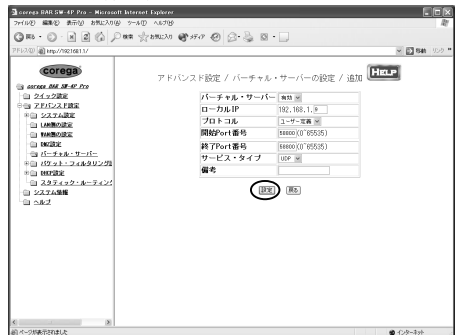
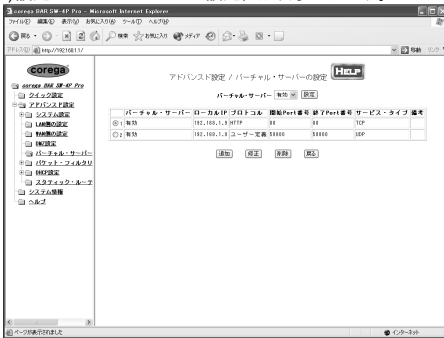
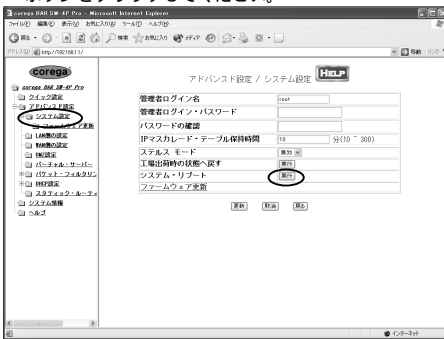
設定は、正常に処理されました

完了

(3)「追加」ボタンをクリックします。

(4)以下の設定内容を入力して「設定」ボタンをクリックしてください。

・バーチャルサーバー：有効
・ローカル IP：CboX の IP アドレス（192.168.1.9）
・プロトコル：HTTP
・開始 Port 番号：80
・終了 Port 番号：80
・サービスタイプ：TCP

(5)「追加」ボタン（(3)と同様）をクリックします。

(6)以下の設定内容を入力して「設定」ボタンをクリックしてください。

・バーチャルサーバー：有効
・ローカル IP：CboX の IP アドレス（192.168.1.9）
・プロトコル：ユーザー定義
・開始 Port 番号：58800
・終了 Port 番号：58800
・サービスタイプ：UDP

(7)設定した 2 つのポートの設定値が表示されます。

(8)左側のフレームの「アドバンスド設定」→「システム設定」をクリックし、“システム・リブート”の「実行」ボタンをクリックしてください。

(9)「OK」ボタンをクリックしてください。
ルータが再起動し、設定内容が有効になります。

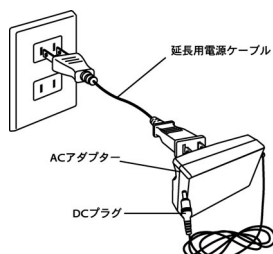
3 機器の接続

3.1 設置する前に

■設置場所

本書冒頭の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。

■電源

必ず付属の AC アダプターを使用し、AC100V のコンセントに接続してください。それ以外の AC アダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。
なお、AC プラグ部が AC100V コンセントに接続する他の機器のじゃまになる場合は、付属の延長用電源ケーブルを接続してお使いください。

■起動と停止

AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC IN に接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込むと起動します。AC アダプターの AC プラグを電源コンセントから抜くと停止します。
なお、電源を停止する前に本体の CF ランプ（黄）が消灯していることを確認してください。

注意

・本製品には電源スイッチがありません。AC プラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
・AC アダプターの AC プラグを電源コンセントに差し込んだまま DC プラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

■推奨ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本製品とブロードバンドルータ（もしくはハブ）を接続するケーブルの長さは 100m 以内にしてください。
また、ケーブルは 100BASE-TX の場合はカテゴリー5 の UTP ケーブル（ストレートタイプ）、10BASE-T の場合はカテゴリー3 以上の UTP ケーブル（ストレートタイプ）を使用してください。

3.2 接続のしかた

本製品を接続する手順について説明します。

(1)コンパクトフラッシュカード（別途、購入が必要です）を本製品の CF カードスロットに接続してください。

(2)ルータの LAN 側のポートと本製品の LAN ポートを UTP ケーブル（ストレート）で接続してください。

(3)本製品の AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC IN に接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込んで起動してください。

3.3 コンパクトフラッシュカードのフォーマット

本製品に使用するコンパクトフラッシュカード（別途、購入が必要です）のフォーマット方法を説明します。
フォーマット形式が違う可能性があるため、初めて使用するコンパクトフラッシュカードは必ずこのフォーマットを行ってください。
なお、このフォーマットを行うことによってコンパクトフラッシュカード内に保存されているデータはすべて消去されるので十分ご注意ください。

(1)必ず本製品の電源が停止していることを確認して、コンパクトフラッシュカードを本製品の背面のコネクタに接続してください。
【memo】コンパクトフラッシュカードの抜き差しは必ず本製品の電源が停止している際に行ってください。
本製品が起動している場合、AC アダプターの AC プラグを電源コンセントから抜いて停止させてからコンパクトフラッシュカードを接続してください。

(2)本製品の AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC IN に接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込んで起動してください。
(3)起動後、本製品の側面のテストスイッチを約 13 秒間押し続けてください。
本製品のランプの点灯が以下のように変化すればコンパクトフラッシュカードのフォーマットは完了です。

状態	Power（赤）	Status（緑）	CF（黄）
通常	点灯	消灯	消灯

⇩ テストスイッチを押し続ける。

状態	Power（赤）	Status（緑）	CF（黄）
ホームページアップロード可能モード	点滅	点滅	消灯

⇩ テストスイッチを押し始めてから約 13 秒後にフォーマットされる。

状態	Power（赤）	Status（緑）	CF（黄）
フォーマット中	点灯	点灯	点灯

⇩ テストスイッチボタンを離す。フォーマット完了。

状態	Power（赤）	Status（緑）	CF（黄）
ホームページアップロード可能モード	点滅	点滅	消灯

【memo】コンパクトフラッシュカードのフォーマット後、本製品を通常のモードに戻したい場合は再度電源を入れなおしてください。
なお、電源を停止する前に本体の CF ランプ（黄）が消灯していることを確認してください。

4 本体設定（基礎）

4.1 本体へのログイン

本体設定するために以下の手順で本製品の設定画面にログインしてから各設定を行ってください。

【memo】推奨品のルータ（corega BAR SW-4P/BAR SW-4P Pro）以外のものを使用した場合、本製品とパソコンの IP アドレスの体系が違う可能性があります。IP アドレス体系が違うと、本製品とパソコンは通信できないため IP アドレス体系を変更する必要があります。付録「A IP 体系の違いについて」を参照して IP アドレス体系の確認及び変更を行って本製品とパソコンが通信できるようにしてください。

本体設定は WWW ブラウザから行います。
次のいずれかの WWW ブラウザを用意してください。

- Microsoft Internet Explorer Ver.4.01 以上
- Netscape Navigator Ver.4.6 以上

(1)本製品の電源が停止していることを確認して、コンパクトフラッシュカードを本製品の背面のコネクタに接続してください。

【memo】本製品が起動している場合、AC アダプターの AC プラグを電源コンセントから抜いて停止させてからコンパクトフラッシュカードを接続してください。

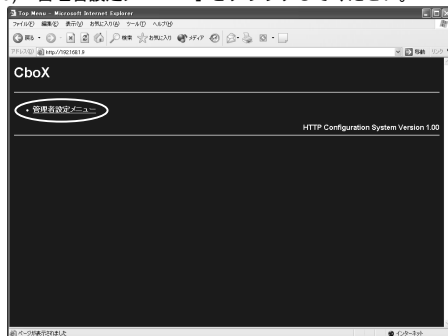
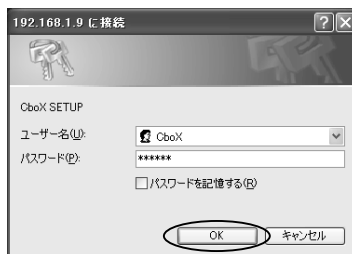
(2)本製品の AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC IN に接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込んで起動してください。

(3)起動後、本製品の側面にあるテストスイッチボタンを約 4 秒間押し続けてください。
本製品の Power（赤）と Status（緑）のランプが点滅し始めます。

(4)WWW ブラウザを起動します。

(5)WWWブラウザのアドレス欄に“http://192.168.1.9/top.htm”を入力し、「Enter」キーを押してください。

【memo】本製品の IP アドレスの工場出荷時設定は以下の設定になっています。
・IP アドレス：192.168.1.9
本製品の IP アドレスを変更されたときは以下の×の箇所に変更した IP アドレスを入力してください。
・http://XXX.XXX.XXX.XXX/top.htm

(6)「管理者設定メニュー」をクリックしてください。

(7)以下のユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。
なお、大文字小文字は区別されるのでご注意ください。
・ユーザー名：CboX
・パスワード：corega

【memo】本製品のユーザ名とパスワードの工場出荷時設定は以下の設定になっています。
・ユーザー名：CboX
・パスワード：corega

【memo】「パスワードを記憶する」にチェックを入れると次回からユーザー名及びパスワードが自動的に入力された状態で、パスワードの入力ダイアログボックスが表示されますが、セキュリティの観点からは、チェックを入れないで、運用されることをお勧めします。

(8)ログイン後、本体の各設定ができるようになります。

4.2 インターネット公開するための設定（DHIS 設定）

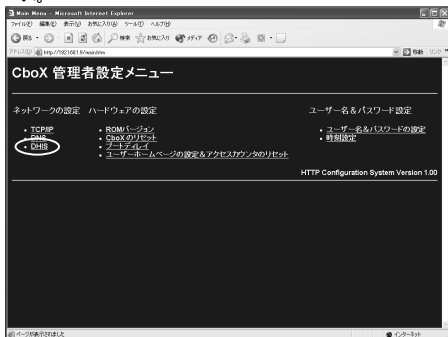
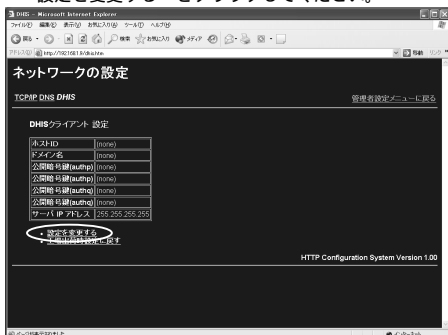
作成したホームページをインターネットへ公開できるように本製品の本体設定を行います。

【memo】作成したホームページをインターネットへ公開しないで LAN 内（ローカルでの使用）でご使用の場合はここで説明する本体設定は必要ありません。

また、本設定には「2.1 ドメイン名の取得」のドメイン名の取得完了後に届くメールの内容が必要になりますのでご準備ください。

【memo】メールが届くのはドメイン名の取得作業が完了してから 1〜4 日間ほど要します。

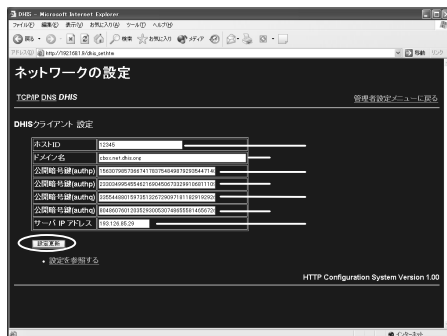
(1)本体にログインしていなければ「4.1 本体へのログイン」を行ってください。

(2)ネットワーク設定項目の“DHIS”をクリックしてください。

(3)現在の設定値が表示されます。
“設定を変更する”をクリックしてください。

【memo】DHIS の設定を工場出荷時設定に戻したい場合は“工場出荷時設定に戻す”→“初期化”をクリックし、次の(6)に進んでください。

(4)「4.1 ドメイン名の取得」のドメイン名の取得後に届いたメールの内容を設定します。
なお、本書では以下のメールの一例を使用して説明しますが、設定する際は必ず届いたメールの値を入力してください。

【memo】メールが届くのはドメイン名の取得作業が完了してから 1〜4 日間ほど要します。

（メール受信内容の 1 部分の例）

```
################################################################
; DHIS(c) 1998-2001 Dynamic Host Information System Release 5.0
; DHIS(c) 5.0 Client Configuration File
; HostName: cbox.net.dhis.org
;
{
HostID   12345
AuthP    15630798573667417837548498792935447140550292013715
AuthP    23303499545546216904506733299106811109911372573857
AuthQ    33554488015973513267290971811829192926684618132104
AuthQ    80486076012035293005307486555814656726939876028339
ISAddr   193.126.85.29
}
```

①ホスト ID：
例）12345

②ドメイン名：
例）cbox.net.dhis.org

③公開暗号鍵(authp)：
例）15630798573667417837548498792935447140550292013715

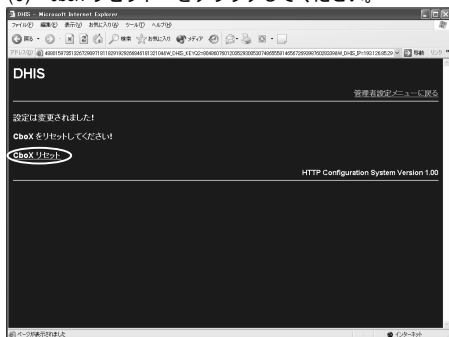
④公開暗号鍵(authp)：
例）23303499545546216904506733299106811109911372573857

⑤公開暗号鍵(authq)：
例）33554488015973513267290971811829192926684618132104

⑥**公開暗号鍵(authq)：**
例）80486076012035293005307486555814656726939876028339

⑦**サーバ IP アドレス：**
例）193.126.85.29

(5)全項目の入力が完了後、「設定更新」ボタンをクリックしてください。

(6) “ CboX リセット ” をクリックしてください。

【memo】続けて、他の設定項目に移動したい場合は “ 管理者設定メニューに戻る ” をクリックして設定変更等を行ってください。

(7)「リセット」ボタンをクリックしてください。
本製品が再起動し、設定内容が有効になります。

【memo】リセット後、再度、設定をやり直したい場合は、(1)の項目からやり直してください。

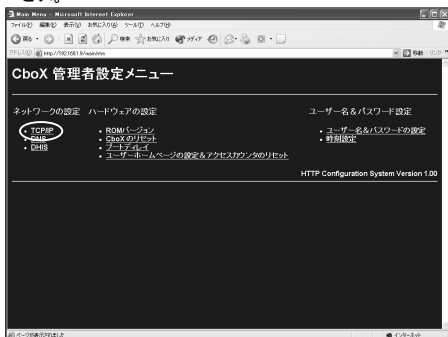
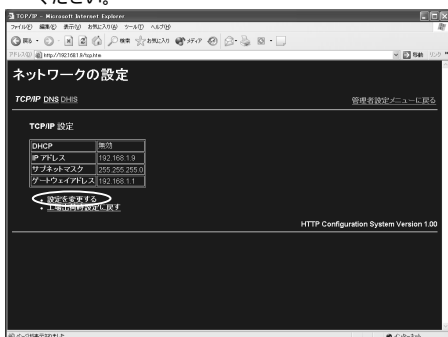
5 本体詳細設定（応用）

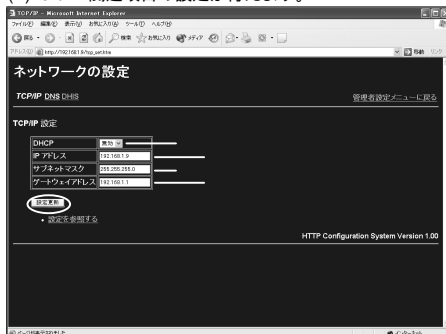
本製品の本体設定の詳細な内容について説明します。

本体設定は WWW ブラウザから行います。
次のいずれかの WWW ブラウザを用意してください。
- Microsoft Internet Explorer Ver.4.01 以上
- Netscape Navigator Ver.4.6 以上

5.1 TCP/IP 設定

(1)本体にログインしていなければ「4.1 本体へのログイン」を行ってください。

(2)ネットワーク設定項目の“TCP/IP”をクリックしてください。

(3)現在の設定値が表示されます。
設定変更する場合は“設定を変更する”をクリックしてください。

【memo】TCP/IP の設定を工場出荷時設定に戻したい場合は“工場出荷時設定に戻す”→“初期化”をクリックし、次の(6)に進んでください。

(4)TCP/IP 関連項目の設定が行えます。

①DHCP：
DHCP 機能を使用するかどうかを設定してください。
IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを自動で設定したい場合は「有効」を設定してください。
この時、DHCP サーバがネットワーク通信できる環境下に必要です。
本書通りのルータの設定をされている場合は工場出荷時設定の「無効」から変更する必要はありません（「2.2 ルータの設定」の“IP アドレス／DHCP の設定”を参照）。

「無効」を選択した場合、IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを手動で設定してください。

工場出荷時設定は「無効」となっています。

②IP アドレス：
DHCP 機能が「無効」の場合、使用する環境下の IP アドレスを入力してください。
本書通りのルータの設定をされている場合は工場出荷時設定から変更する必要はありません（「2.2 ルータの設定」の“IP アドレス／DHCP の設定”を参照）。

工場出荷時設定は「192.168.1.9」となっています。

③サブネットマスク：
DHCP 機能が「無効」の場合、使用する環境下のサブネットマスクを入力してください。
本書通りのルータの設定をされている場合は工場出荷時設定から変更する必要はありません（「2.2 ルータの設定」の“IP アドレス／DHCP の設定”を参照）。

工場出荷時設定は「255.255.255.0」となっています。

④ゲートウェイアドレス：
DHCP 機能が「無効」の場合、使用する環境下のゲートウェイアドレスを入力してください。
本書通りのルータの設定をされている場合は工場出荷時設定から変更する必要はありません（「2.2 ルータの設定」の“IP アドレス／DHCP の設定”を参照）。

工場出荷時設定は「192.168.1.1」となっています。

(5)設定の入力が完了後、「設定更新」ボタンをクリックしてください。

(6)“CboX リセット”をクリックしてください。

【memo】他の設定項目に移動したい場合は“管理者設定メニューに戻る”をクリックして設定変更等を行ってください。

(7)「リセット」ボタンをクリックしてください。
本製品が再起動し、設定内容が有効になります。

【memo】リセット後、再度、設定をやり直したい場合は、(1)の項目からやり直してください。

5.2 DNS 設定

(1)本体にログインしていなければ「4.1 本体へのログイン」を行ってください。

(2)ネットワーク設定項目の“DNS”をクリックしてください。

(3)現在の設定値が表示されます。
設定変更したい場合は“設定を変更する”をクリックしてください。

【memo】DNS の設定を工場出荷時設定に戻したい場合は“工場出荷時設定に戻す”→“初期化”をクリックし、次の(6)に進んでください。

(4) DNS 関連項目を設定できます。

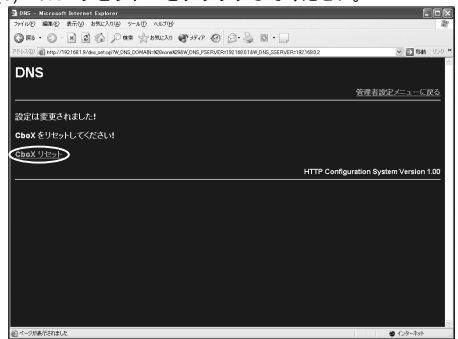
①プライマリ DNS サーバ IP／セカンダリ DNS サーバ IP：
ホームページのチャット機能と掲示板機能を使用しない場合は設定する必要はありません。

ホームページのチャット機能もしくは掲示板機能を使用しており、「5.8 時刻設定」の時刻の更新方法でタイムサーバ「自動（NTP)」を使用する場合は以下の DHCP 設定によっては設定する必要があります。

【DHCP 有効の場合】
本製品の「5.1 TCP/IP 設定」で DHCP を「有効（使用する)」に設定されている場合は自動的に設定されるので設定する必要はありません。
但し、環境によっては自動設定されない場合があります。その際は、パソコンで DNS サーバの IP アドレスを確認して設定してください（付録の「B パソコンに設定されている DNS 設定の確認方法」を参照)。
なお、DNS サーバの IP アドレスを確認した結果、1 つしかなかった場合は“プライマリ DNS サーバ IP”にその IP アドレスを設定してください。

【DHCP 無効の場合】
本製品の「5.1 TCP/IP 設定」で DHCP を「無効（使用しない)」に設定されている場合は手動で入力する必要があります。“プライマリ DNS サーバ IP“、”セカンダリ DNS サーバ IP“に設定する IP アドレスは付録の「B パソコンに設定されている DNS 設定の確認方法」を参照してください。
なお、DNS サーバの IP アドレスを確認した結果、1 つしかなかった場合は“プライマリ DNS サーバ IP”にその IP アドレスを設定してください。

工場出荷時設定は「255.255.255.255（未設定)」となっています。

(5)設定の入力が完了後、「設定更新」ボタンをクリックしてください。

(6)“CboX リセット”をクリックしてください。

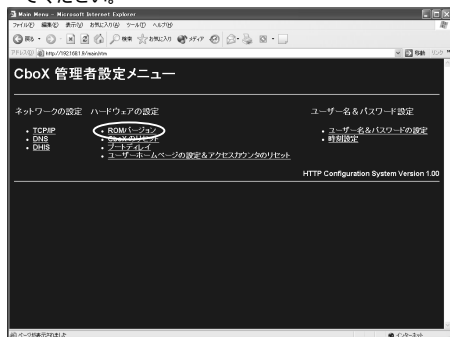
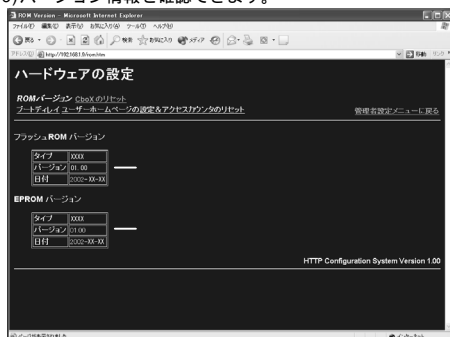
【memo】他の設定項目に移動したい場合は“管理者設定メニューに戻る”をクリックして設定変更等を行ってください。

(7)「リセット」ボタンをクリックしてください。
本製品が再起動し、設定内容が有効になります。

【memo】リセット後、再度、設定をやり直したい場合は、(1)の項目からやり直してください。

5.3 ROM バージョン

(1)本体にログインしていなければ「4.1 本体へのログイン」を行ってください。

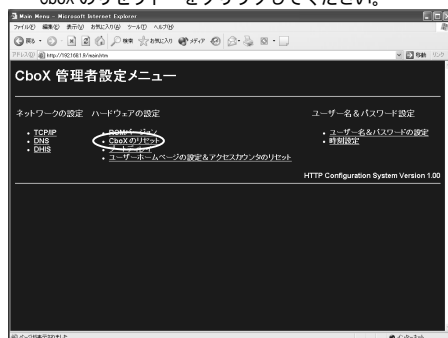
(2)ハードウェア設定項目の“ROM バージョン”をクリックしてください。

(3)バージョン情報を確認できます。

①フラッシュ ROM バージョン：
本製品のファームウェアバージョンが表示されます。

弊社は、改良のため予告なく、本製品のファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新版のファームウェアは、弊社ホームページから入手することができます。

②EPROM バージョン：
本製品の EPROM バージョンが表示されます。
EPROM はアップデートできません。

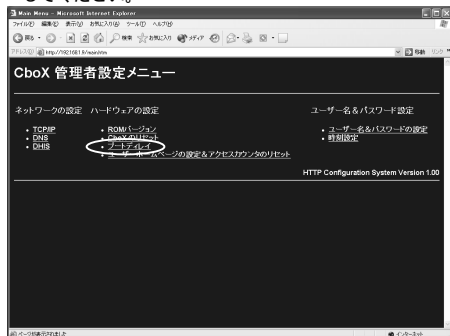
(4)他に本体設定など行わない場合は本製品を再起動してください。
【memo】他の設定項目に移動したい場合は“管理者設定メニューに戻る”をクリックして設定変更等を行ってください。

5.4 CboX のリセット

(1)“CboX 管理者設定メニュー”のハードウェア設定項目で“CboX のリセット”をクリックしてください。

(2)「リセット」ボタンをクリックしてください。
本製品が再起動し、他の項目で設定変更している場合は設定内容が有効になります。

5.5 ブートディレイ

(1)本体にログインしていなければ「4.1 本体へのログイン」を行ってください。

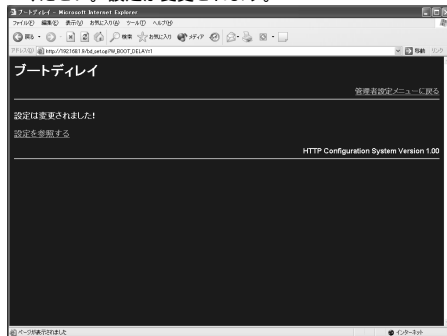
(2)ハードウェア設定項目の“ブートディレイ”をクリックしてください。

(3)現在の設定値が表示されます。
設定変更したい場合は“設定を変更する”をクリックしてください。

(4)ブートディレイを設定できます。

①ブートディレイ[秒]：
本製品の起動遅延時間について秒単位（0～240 秒）で設定できます。
スイッチングハブをご使用の場合に、スイッチングハブによって電源投入後にすぐに通信が開始されない場合があり、そのような場合に設定してください。

【memo】通常は変更する必要はありません。

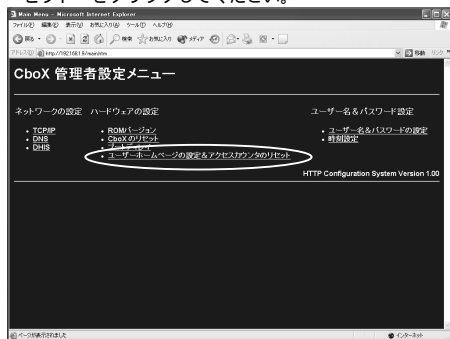
工場出荷時設定は「0 秒」となっています。

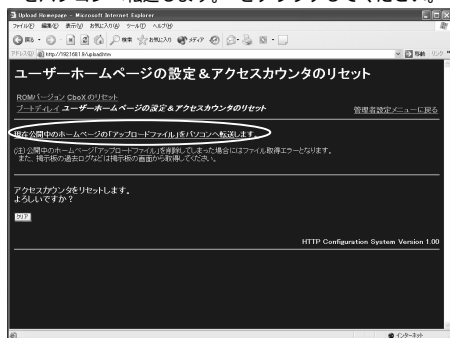
(5)設定の入力が完了後、「設定更新」ボタンをクリックしてください。設定が変更されます。

(4)他に本体設定など行わない場合は本製品を再起動してください。

【memo】他の設定項目に移動したい場合は“管理者設定メニューに戻る”をクリックして設定変更等を行ってください。

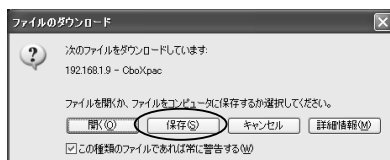
5.6 ユーザーホームページの設定＆アクセスカウンタのリセット

(1)本体にログインしていなければ「4.1 本体へのログイン」を行ってください。

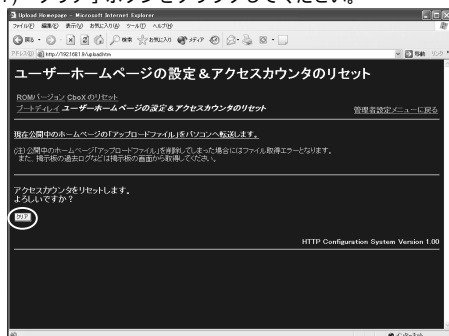
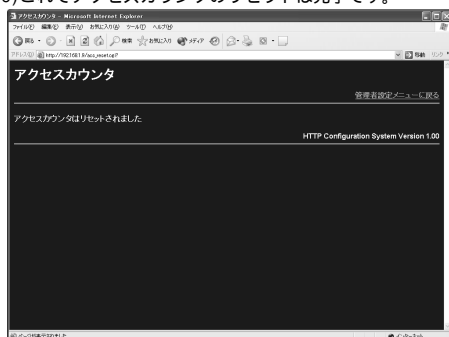
(2)“ユーザーホームページの設定＆アクセスカウンタのリセット”をクリックしてください。

(3)現在公開中のホームページの「アップロードファイル」をパソコンへ転送したい場合は(4)へ進んでください。
アクセスカウンタをリセットしたい場合は(7)へ進んでください。

(4)“現在公開中のホームページの「アップロードファイル」をパソコンへ転送します。”をクリックしてください。

(5)「保存」ボタンをクリックして任意の場所に保存してください。
これでアップロードファイルの転送は完了です。

【memo】掲示板の過去ログなどは転送されないため、保管したい過去ログは作成したホームページの掲示板の過去ログ画面から対象のログ上で右クリックして「対象をファイルに保存」を選択して取得してください。
【memo】“アップロードファイル（PAC 形式）”については「6.4 WebWizard の詳細説明」の(10)の項目を参照してください。

続けて、アクセスカウンタのリセットを行いたい場合は次の(7)へ進んでください。

(6)他に本体設定など行わない場合は本製品を再起動してください。

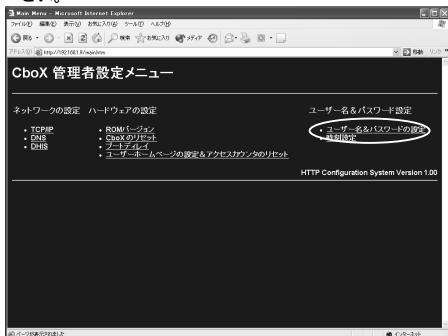
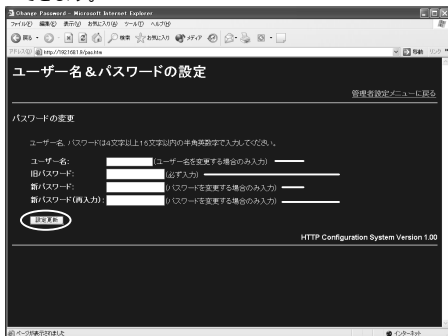
【memo】他の設定項目に移動したい場合は“管理者設定メニューに戻る”をクリックして設定変更等を行ってください。

(7)「クリア」ボタンをクリックしてください。

(8)これでアクセスカウンタのリセットは完了です。

(9)他に本体設定など行わない場合は本製品を再起動してください。

【memo】他の設定項目に移動したい場合は“管理者設定メニューに戻る”をクリックして設定変更等を行ってください。

5.7 ユーザー名＆パスワードの設定

(1)本体にログインしていなければ「4.1 本体へのログイン」を行ってください。

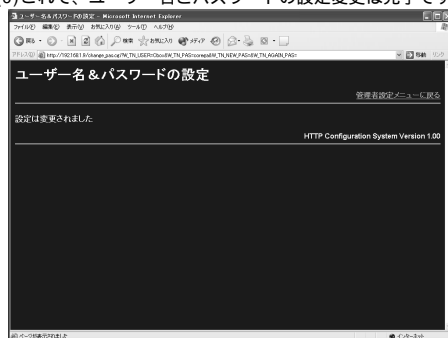
(2)“ユーザー名＆パスワードの設定”をクリックしてください。

(3)本製品へのログインするユーザー名とパスワードを変更できます。

ユーザー名とパスワードは 4 文字以上 15 文字以内の半角英数字を使用することができます。
また、ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別するのでご注意ください。

【ユーザー名を変更する場合】
①の“ユーザー名”の部分に新たに設定するユーザー名を入力し、②の旧パスワードの部分に現在のパスワードを入力してください。

【パスワードを変更する場合】
②の旧パスワードに現在のパスワードを入力し、③の新パスワードと④の新パスワード（再入力）に新たに設定するパスワードを入力してください。

工場出荷時設定は「ユーザー名：CboX」「パスワード：corega」となっております。

(4)設定の入力が完了後、「設定更新」ボタンをクリックしてください。

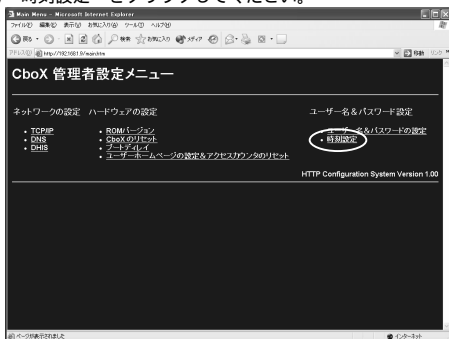
(5)これで、ユーザー名とパスワードの設定変更は完了です。

(6)他に本体設定など行わない場合は本製品を再起動してください。

【memo】他の設定項目に移動したい場合は“管理者設定メニューに戻る”をクリックして設定変更等を行ってください。

5.8 時刻設定

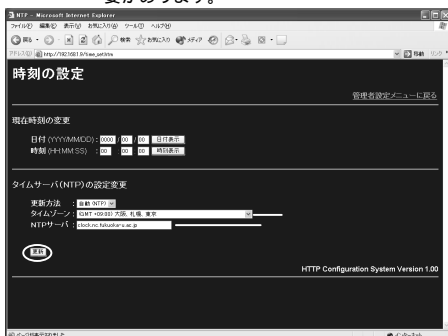
作成するホームページにてチャット機能と掲示板機能を使用しない場合は設定する必要はありません。
チャット機能もしくは掲示板機能を使用し、その日時を表示したい場合は設定してください。

(1)本体にログインしていなければ「4.1 本体へのログイン」を行ってください。

(2) “ 時刻設定 ” をクリックしてください。

(3)時刻の更新方法を設定できます。
①の “ 更新方法 ” にて「自動（NTP)」を選択した場合は(4)へ、「手動」を選択した場合は(8)へ進んでください。

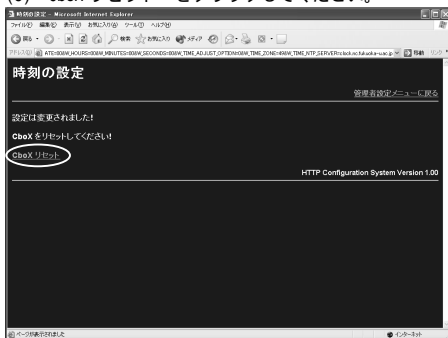
工場出荷時設定は「自動（NTP)」となっております。

(4)「自動（NTP)」を選択した場合は以下の設定を行ってください。

【memo】「自動(NTP)」を選択すると自動的にインターネット上のタイムサーバ（NTP）から時刻の情報を取得して本製品の時刻更新をします。
なお、事前に「5.2 DNS 設定」の設定をする必要があります。

①タイムゾーン：
工場出荷時設定の「(GMT +09:00) 大阪、札幌、東京」のままで設定を変更する必要はありません。

②NTP サーバ：
工場出荷時設定のタイムサーバと違うタイムサーバを使用する場合はそのドメイン名を入力してください。

工場出荷時設定は「clock.nc.fukuoka-u.ac.jp」となっております。
なお、時刻が設定されないときは NTP サーバに障害が起きている可能性があるため以下の NTP サーバのドメイン名を設定してください。
clock.kpix.org

(5)設定の入力が完了後、「更新」ボタンをクリックしてください。

(6) “ CboX リセット ” をクリックしてください。

【memo】他の設定項目に移動したい場合は “ 管理者設定メニューに戻る ” をクリックして設定変更等を行ってください。

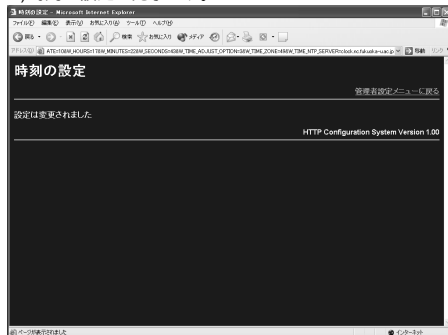
(7)「リセット」ボタンをクリックしてください。
本製品が再起動し、設定内容が有効になります。

(8)「手動」を選択した場合は以下の設定を行ってください。
なお、「手動」の場合はホームページの作成が完了し、そのデータを本製品に転送してから設定してください。
【memo】本設定はパソコンの時計情報を利用するため事前にパソコンの日時を確認してください。

①日付：
「日付表示」ボタンをクリックしてください。

②時刻：
「時刻表示」ボタンをクリックしてください。

(9)設定完了後、「更新」ボタンをクリックしてください。

(10)時刻の設定は完了です。

(11)本製品を再起動してください。
設定した日時がカウントされ始めます。
【memo】なんらかの理由（再編集したホームページデータを本製品に転送するときなど）で再度、本製品を再起動した場合は、日時が最初に設定した値に戻るため、必ず時刻を設定し直してください。

6 ホームページの作成

6.1 ユーティリティの概要

付属 CD-ROM に収録されているユーティリティについて説明します。

ユーティリティ名	用途
WebWizard	本製品用のホームページ作成及び本製品へデータ転送するのに使用します。
UserPack	Microsoft 製 FrontPage もしくは IBM 製ホームページビルダーで作成したホームページデータから独自ファイル（アップロードファイル）を作成し、本製品にデータ転送するのに使用します。
UnPackHP	アップロードファイルデータ (PAC 形式)を Microsoft 製 FrontPage もしくは IBM 製ホームページビルダーで編集できるようにデータ変換するのに使用します。

【memo】ユーティリティの対応 OS は以下の通りです。
・Microsoft Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP（日本語版）

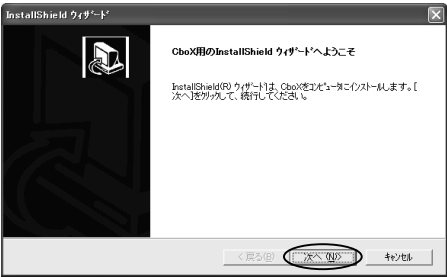
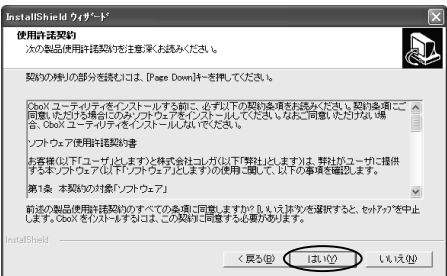
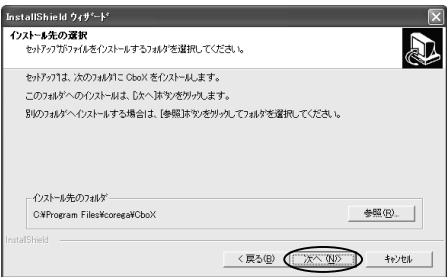
6.2 インストール

ユーティリティのインストール方法について説明します。
このインストールによって“WebWizard”と“UserPack”、“UnPackHP”のユーティリティがパソコンにインストールされます。

【memo】“UnPackHP.exe”は Windows のプログラムのメニュー内に表示されません。ユーティリティをインストールしたフォルダ内にあります。

(1)付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。

(2)CD-ROM 内の「CboX」→「ユーティリティ」→「Setup.exe」を実行してください。

(3)インストールウィザードが起動するので、「次へ」をクリックしてください。

(4)内容をご一読の上、使用許諾内容に同意いただける場合は「はい」をクリックしてください。

(5)インストール先の選択画面が表示されます。インストール先のフォルダに問題がなければ「次へ」をクリックしてください。インストールが開始されます。

(6)インストール完了の画面が表示されるので、「完了」をクリックしてください。これでインストールは完了です。

【memo】ユーティリティをアンインストールしたい場合は Windows の「スタート」→「プログラム」→「corega」→「CboX」→「Uninstall CboX」を実行してください。

6.3 先ずホームページを作ろう

ここでは先ず簡単な内容のホームページを WebWizard で作成し、作成したホームページを LAN 環境内(ローカル環境)で閲覧するまでを説明します。

【memo】事前にコンパクトフラッシュカードのフォーマットを行ってください。
フォーマット形式が違う可能性があるため、初めて使用するコンパクトフラッシュカードは必ず「3.3 コンパクトフラッシュカードのフォーマット」を行ってください。

(1)Windows の「スタート」→「プログラム」→「corega」→「CboX」→「WebWizard」を指定して、ホームページを作成するユーティリティ WebWizard を起動してください。

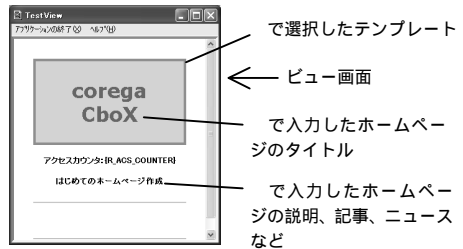
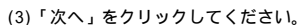
(2)“新規に作成する”にチェックが入っていることを確認し、「検索」ボタンをクリックして作成するホームページファイルの保存先とファイル名を指定して保存してください。

【memo】工場出荷時のファイル名は“CboX.hws”となっております。なお、ファイル名には半角英数字のみ使用できます。

(3)「次へ」をクリックしてください。

(4)ホームページのメインページの情報を入力するウィザード画面が表示されます。
ここでは以下の①～③の選択及び入力をしてください。

【memo】なお、本章ではこのウィザード画面で作成するホームページのメインページのみ作成して説明します。

①テンプレートをお選びください：
プルダウンメニューの 10 種類のテンプレートから選んでください。

なお、本章の説明では“002:シンプル（タイトル背景を薄紫）”を選択します。

②ページタイトルを入力してください（32 文字以内）：
32 文字以内でホームページのタイトルを入力してください。

【memo】位置の調整などでタイトルの先頭にスペースを入れる場合は、全角のスペースを入れてください。半角のスペースを入力しても反映されません。

なお、本章の説明では“corega CboX”と入力します。

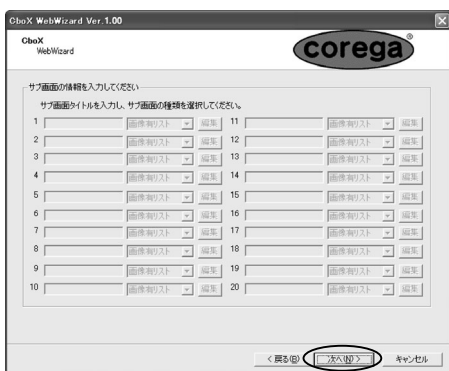
③ホームページの説明、記事、ニュースなどをお書きください（4000 文字程度）：
4000 文字程度以内でホームページの説明などを入力してください。

【memo】位置の調整や説明などで文章の先頭にスペースを入れる場合は、全角のスペースを入れてください。半角のスペースを入力しても反映されま

せん。

なお、本章の説明では“はじめてのホームページ作成”と入力します。

(5)本章の説明ではホームページのサブ画面は作成しないので何も変更せずに「次へ」をクリックしてください。

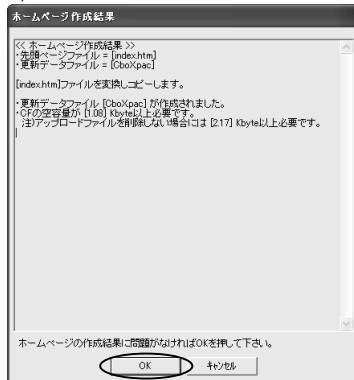
(6)同様に何も変更せずに「次へ」をクリックしてください。これでホームページのデータ作成は完了です。

(7)次に、作成したホームページのデータを本製品に転送します。

本製品をネットワークに接続し、アップロード可能モードにしてください。

【memo】本製品を起動し（コンパクトフラッシュカードが接続されていること)、本体の側面のテストスイッチを約 4 秒間押し続けてください。本体のランプの Power（赤)、Status（緑）が点滅するとアップロード可能モードの状態です。アップロード可能モードになったら直ぐにテストスイッチボタンを離してください。

(8)①の“ネットワークを経由してホームページを更新する”にチェックが入っていることを確認し、②に本製品の IP アドレス“192.168.1.9”が入っていることを確認してください。本製品の IP アドレスを変更した場合は変更した IP アドレスを入力してください。

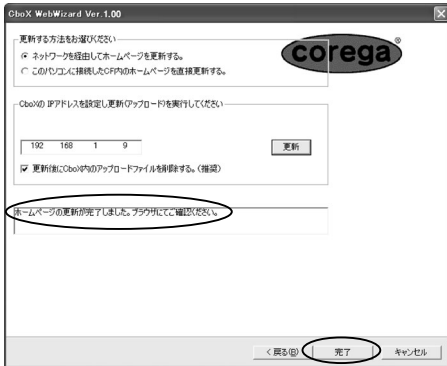
(9)「更新」ボタンをクリックしてください。

(10)「OK」ボタンをクリックしてください。

(11)本体へログインするための以下のユーザー名とパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。本製品へホームページデータがデータ転送されます。

・ユーザー名：CboX

・パスワード：corega

本体設定で設定を変更した場合は変更したものを入力してください。

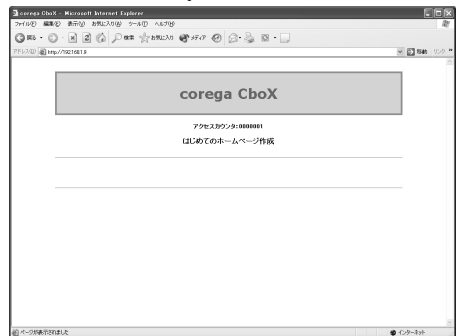
(12) “ホームページの更新が完了しました。ブラウザにてご確認ください。”のメッセージが表示されたら「完了」ボタンをクリックしてください。

(13) “WebWizard を終了しますか？”のメッセージ画面では「はい」をクリックしてください。

(14)次に作成したホームページを LAN 環境内(ローカル環境)で閲覧してみましょう。

(15)WWW ブラウザを起動します。

(16)アドレス欄に http://192.168.1.9 と入力し Enter キーを押してください。
本製品の IP アドレスを変更している場合は変更した IP アドレスを入力してください。

(17)作成したホームページが表示されるか確認してください。

【memo】第 3 者にインターネット経由で自分の作成したホームページを閲覧してもらうには「2.1 ドメイン名の取得」で登録したドメイン名にアクセスしてもらいます。
WWW ブラウザのアドレス欄に以下のように入力してもらってください。
http://**xxxx**.net.dhis.org
xxxx が「2.1 ドメイン名の取得」で取得したサブドメイン名です。
なお、同じ LAN 内に本製品があるためお客様自身のパソコンからはドメイン名を指定して閲覧することはできません。

6.4 WebWizard の詳細説明

本製品用のホームページ作成ユーティリティ WebWizard の詳細な説明をします。

【memo】事前にコンパクトフラッシュカードのフォーマットを行ってください。
フォーマット形式が違う可能性があるため、初めて使用するコンパクトフラッシュカードは必ず「3.3 コンパクトフラッシュカードのフォーマット」を行ってください。

(1)Windows の「スタート」→「プログラム」→「corega」→「CboX」→「WebWizard」を指定して、ホームページを作成するユーティリティ WebWizard を起動してください。

(2)①～④の選択が完了後、「次へ」をクリックしてください。

①新規に作成する：
ホームページのデータを新規で作成する場合に選んでください。

②既存ホームページの編集：
既に WebWizard にて作成したホームページのデータがパソコンに保存されており、そのデータを再編集する場合に選んでください。

③大きな JPEG ファイルは再圧縮する：
大きなデータサイズの JPEG を再圧縮する機能です。
通常はチェックを入れてください。
なお、デフォルトはチェックが入っています。

④検索ボタン：
ホームページデータを新規作成する場合は「検索」ボタンをクリックしてデータの保存先とファイル名（デフォルトファイル名は CboX.hws となっています）を指定してください。
【memo】ファイル名には半角英数字のみ使用できます。

既存の WebWizard のデータを再編集する場合は「検索」ボタンをクリックして編集するファイル（xxxx.hws）を指定してください。
この場合、ホームページデータが上書きされるので、前回のデータを残しておきたい場合は事前にホームページデータがあるフォルダを別保存してください。

(3)ホームページのメインページの情報を入力するウィザード画面です。ビュー画面を参照しながら設定してください。
①～⑪の入力及び選択が完了後、「次へ」をクリックしてください。
【memo】入力する項目で位置の調整などで先頭にスペースを入れる場合は、全角のスペースを入れてください。半角のスペースを入力しても反映されません。

①テンプレートをお選びください：
プルダウンメニューの 10 種類のテンプレートから選んでください。

②ページタイトルを入力してください（32 文字以内）：
32 文字以内でホームページのタイトルを入力してください。

③文字サイズ：
プルダウンメニューからホームページのタイトルの文字の大きさを選択してください。

④ホームページの説明、記事、ニュースなどをお書きください（4000 文字程度）：
4000 文字程度以内でホームページの説明などを入力してください。

⑤アクセスカウンタの表示（32 文字以内）：
ホームページにアクセスされた回数を表示できます。
右の欄に 32 文字以内でアクセスカウンタの表示名を入力してください。

⑥チャットの利用（32文字以内）：

チャット機能を使用できます。

右の欄に32文字以内でチャットの入り口のタイトルを入力してください。

【memo】チャット機能を使用する場合は作成したホームページデータを本製品に転送してから、本体設定の「5.2 DNS設定」「5.8 時刻設定」を行ってください。

⑦掲示板の利用（32文字以内）：

掲示板機能を使用できます。

右の欄に32文字以内で掲示板の入り口のタイトルを入力してください。

【memo】掲示板機能を使用する場合は作成したホームページデータを本製品に転送してから、本体設定の「5.2 DNS設定」「5.8 時刻設定」を行ってください。

【memo】掲示板のログの消し方は作成したホームページの掲示板の管理者用の画面で削除することができます。また、掲示板に投稿した方が自分で投稿した掲示板を削除する場合は掲示板の画面で削除することができます。

⑧Mailアドレスの表示（64文字以内）：

ホームページを閲覧した方が右の欄に入力したメールアドレス宛にメールを送信することができます。

右の欄に64文字以内で受信先のメールアドレスを必ず左詰で入力してください。

⑨背景、文字などの色を設定：

メインページの背景や文字などの色を設定できます。

色の設定を変更したい場合は「色の設定」ボタンをクリックしてください。

「色の設定」ボタンをクリックするとポップアップする画面

⑩画像を貼り付ける場合にはファイルを指定してください：

メインページの背景に画像を貼り付けることができます。

画像を貼り付けたい場合は「検索」ボタンをクリックして画像ファイルを指定してください。

【memo】貼り付けられる画像データはファイル名が半角英数字のもののみです。

【memo】付属CD-ROM内の”素材集”のフォルダ内に画像が収録されてます。

⑪タイル状に敷き詰める：

⑩で貼り付けた画像をメインページにタイル状に敷き詰めることができます。

(4)ホームページのサブ画面の共通な情報を入力するウィザード画面です。ビュー画面を参照しながら設定してください。

①～⑤の入力及び選択が完了後、「次へ」をクリックしてください。

①サブ画面数を入力してください（20画面以内）：

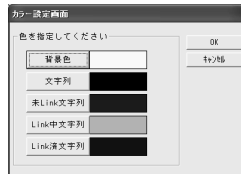
20画面以内で作成するサブ画面数を入力してください。

②サブ画面タイトル文字のサイズを選択してください：

プルダウンメニューからサブ画面のタイトルの文字サイズを選択してください。

③背景、タイトル文字などの色を設定してください：

サブ画面の背景やタイトル文字などの色を設定できます。

色の設定を変更したい場合は「色の設定」ボタンをクリックしてください。

「色の設定」ボタンをクリックするとポップアップする画面

④画像を貼り付ける場合にはファイルを指定してください：

サブ画面の背景に画像を貼り付けることができます。

画像を貼り付けたい場合は「検索」ボタンをクリックして画像ファイルを指定してください。

【memo】貼り付けられる画像データはファイル名が半角英数字のもののみです。

【memo】付属CD-ROM内の”素材集”のフォルダ内に画像が収録されてます。

⑤タイル状に敷き詰める：

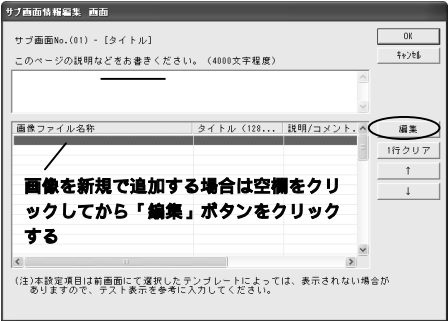
④で貼り付けた画像をサブ画面にタイル状に敷き詰めることができます。

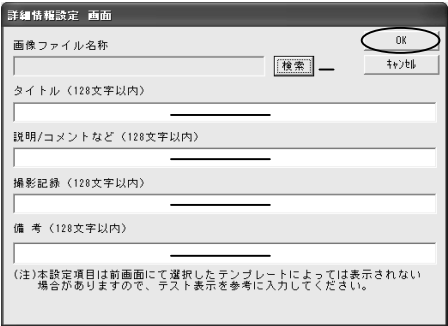
(5)ホームページのサブ画面の情報を入力するウィザード画面です。ビュー画面を参照しながら設定してください。
①〜②の入力及び選択が完了後、「編集」ボタンをクリックしてください。
【memo】入力する項目で位置の調整などで先頭にスペースを入れる場合は、全角のスペースを入れてください。半角のスペースを入力しても反映されません。

①サブ画面のタイトルを入力（16 文字以内）：
16 文字以内でサブ画面のタイトルを入力してください。

②サブ画面の種類を選択：
プルダウンメニューからサブ画面の種類を選択してください。

サブ画面種類	用途
画像有リスト	画像と詳細な情報を付けられるページを作成できます。
画像無しリスト	画像は表示せずに画像ファイル名とコメントのページを作成できます。
サムネイル	画像のみのページを作成できます。
画像付リンク	URL リンク画像のページを作成できます。
文字リンク	URL リンクとコメントのページを作成できます。
自由帳	ページ説明のみのページを作成できます。

(6)ホームページの各サブ画面の情報を入力するウィザード画面です。
ここではサブ画面の種類として「画像有りリスト」を選択した場合の説明をします。ビュー画面を参照しながら入力してください。
①の入力が完了後、画像を新規で追加する場合は下段の空欄をクリックし「編集」ボタンをクリックしてください。
【memo】入力する項目で位置の調整などで先頭にスペースを入れる場合は、全角のスペースを入れてください。半角のスペースを入力しても反映されません。

①このページの説明などをお書きください（4000 文字程度）：
4000 文字程度以内でこのサブ画面のページの説明などを入力してください。

(7)サブ画面「画像有りリスト」の画像の詳細な情報を入力するウィザード画面です。
①〜⑤の入力及び選択が完了後、「OK」ボタンをクリックしてください。
【memo】入力する項目で位置の調整などで先頭にスペースを入れる場合は、全角のスペースを入れてください。半角のスペースを入力しても反映されません。

①画像ファイル名称：
「検索」ボタンをクリックしてサブ画面に貼り付ける画像ファイルを指定してください。
【memo】貼り付けられる画像データはファイル名が半角英数字のもののみです。
【memo】付属 CD-ROM 内の ”素材集 ”のフォルダ内に画像が収録されてます。

②タイトル（128 文字以内）：
128 文字以内で画像のタイトルなどを入力してください。

③説明／コメントなど（128 文字以内）：
128 文字以内で画像の説明やコメントなどを入力してください。

④撮影記録（128 文字以内）：
128 文字以内で画像の撮影記録についてなどを入力してください。

⑤備考（128 文字以内）：
128 文字以内で備考などを入力してください。

(8)作成したサブ画面をビュー画面で参照してください。
問題なければ、下図の画面で「次へ」をクリックしてください。

(9)作成したホームページデータを転送する方法を選択してください。
“ ネットワークを経由してホームページを更新する ” の場合は(10)に進んでください。
“ このパソコンに接続した CF 内のホームページを直接更新する ” の場合は(14)に進んでください。

【memo】　ネットワーク経由してホームページを更新する場合、ホームページのデータサイズが大きいとパソコンにコンパクトフラッシュカードを接続しての直接更新の場合と比べて更新するのに時間がかかる場合があります。

(10)本製品をネットワークに接続し、アップロード可能モードにしてください。
①と②の入力及び選択が完了後、「更新」ボタンをクリックしてください。
【memo】 本製品を起動し（コンパクトフラッシュカードが接続されていること)、本体の側面のテストスイッチを約 4 秒間押し続けてください。本体のランプの Power（赤)、Status（緑）が点滅するとアップロード可能モードの状態です。アップロード可能モードになったら直ぐにテストスイッチボタンを離してください。

①本製品の IP アドレス：
本製品の IP アドレスを入力してください。

②更新後に CboX 内のアップロードファイルを削除する：
チェックを入れない場合は、“ アップロードファイル（PAC 形式）” は削除されずにコンパクトフラッシュカード内に残ります。
この場合、コンパクトフラッシュカードに書き込まれるデータサイズは削除する場合と比べて約 2 倍ぐらいになります。
なお、デフォルトはチェックが入っています。

【アップロードファイルについて】
例えば、パソコンにホームページデータが無くなって再編集したい場合、コンパクトフラッシュカード内に “ アップロードファイル ”があれば以下の方法で再編集することが可能です。

1．本製品から “ アップロードファイル（PAC 形式）” をパソコンに転送する。
転送方法については「5.6 ユーザーホームページの設定＆アクセスカウンタのリセット」を参照してください。

2．ユーティリティをインストールしたフォルダ内にあるファイル復元ツール（unPackHP.exe）を転送してきた “ アップロードファイル(xxx.pac というファイル名／PAC 形式データ）” が保存されて

いるディレクトリ内にコピーして、unPackHP.exeを実行する。そのディレクトリ内で“アップロードファイル”がデータ変換されます。

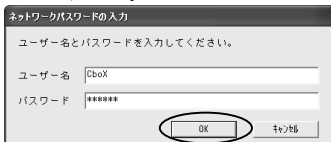
３．WebWizard では編集できないデータのため Microsoft 製の FrontPage もしくは IBM 製のホームページビルダーのホームページ作成ソフトにて再編集する（別途、購入が必要です)。
なお、一部機能が使用できない場合があります。

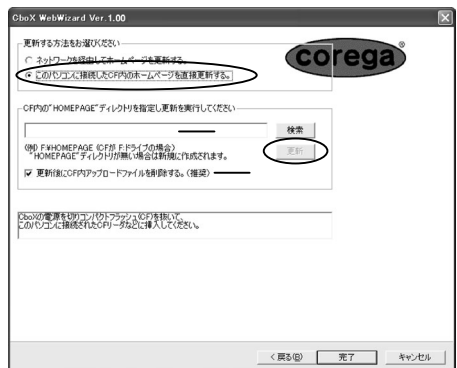
４．付属 CD-ROM 内にある UserPack で本製品にホームページデータを転送する。
転送方法については「6.5 UserPack の説明」を参照してください。

(11)ホームページ作成結果画面で、作成結果に問題がなければ「OK」をクリックしてください。

(12)本体へログインするための以下のユーザー名とパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
本製品へホームページデータがデータ転送されます。

・ユーザー名：CboX
・パスワード：corega

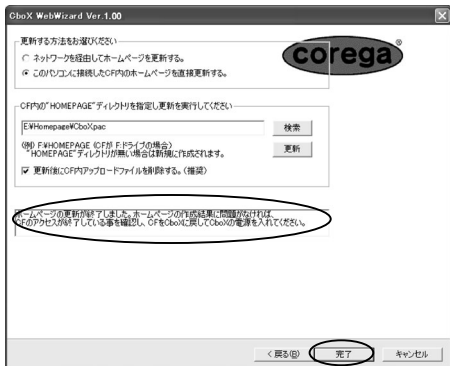
本体設定で設定を変更した場合は変更したものを入力してください。

(13)“ホームページの更新が完了しました。ブラウザにてご確認ください。”のメッセージが表示されたら「完了」ボタンをクリックし、(17)へ進んでください。

(14)コンパクトフラッシュカードをパソコンに接続されたコンパクトフラッシュリーダー等に挿入してください。
①と②の選択が完了後、「更新」ボタンをクリックしてください。

①CF 内の“HOMEPAGE”ディレクトリを指定し更新を実行してください：
「検索」ボタンをクリックしてコンパクトフラッシュカードのドライブの“HOMEPAGE”フォルダを選択してください。
“HOMEPAGE”フォルダがない場合は新規に作成されます。

②更新後に、CF 内のアップロードファイルを削除する：
チェックを入れない場合は、“アップロードファイル（PAC 形式）”は削除されずにコンパクトフラッシュカード内に残ります。
この場合、コンパクトフラッシュカードに書き込まれるデータサイズは削除する場合と約2倍ぐらいになります。
なお、デフォルトはチェックが入っています。

【memo】“アップロードファイル(PAC 形式)”については(10)の“アップロードファイルについて”の項目を参照してください。

(15)ホームページ作成結果画面で、作成結果に問題がなければ「OK」をクリックしてください。
コンパクトフラッシュカードにホームページデータが書き込まれます。

(16) “ホームページの更新が終了しました。ホームページの作成結果に問題がなければ、CF のアクセスが終了している事を確認し、CF を CboX に戻して CboX の電源を入れてください。”のメッセージが表示されたら「完了」ボタンをクリックしてください。

(17) “WebWizard を終了しますか？”のメッセージ画面では「はい」をクリックして WebWizard を終了してください。

6.5 UserPack の説明

UserPack ユーティリティは Microsoft 製 FrontPage もしくは IBM 製ホームページビルダーで作成したホームページデータから独自ファイル（アップロードファイル）を作成し、本製品にデータ転送するのに使用します。

【memo】一部、使用できない機能があります（チャット、掲示板、アクセスカウンタ、CGI を使用する機能など）。

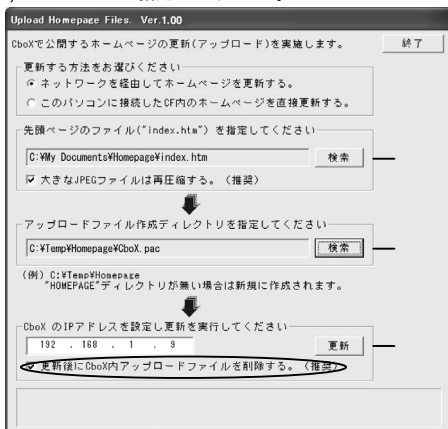
本ユーティリティの使用方法について説明します。

【memo】事前にコンパクトフラッシュカードのフォーマットを行ってください。
フォーマット形式が違う可能性があるため、使用するコンパクトフラッシュカードで本製品に初めて使用する場合は必ず「3.3 コンパクトフラッシュカードのフォーマット」を行ってください。

(1)Windows の「スタート」→「プログラム」→「corega」→「CboX」→「UserPack」を指定して、UserPack ユーティリティを起動してください。

(2)本製品にデータ転送する方法について①の“ネットワークを経由してホームページを更新する。”を選択する場合は(3)に進んでください。②の“このパソコンに接続した CF 内のホームページを直接更新する。”を選択する場合は(7)に進んでください。

【memo】ネットワーク経由してホームページを更新する場合、ホームページのデータサイズが大きいとパソコンにコンパクトフラッシュカードを接続しての直接更新の場合と比べて更新するのに時間がかかる場合があります。

(3)①〜③について指定してください。

①「検索」ボタンをクリックし、作成したホームページデータ内の‘ index.htm ’ファイルを指定してください。

②「検索」ボタンをクリックして、本製品へデータ転送するための“ アップロードファイル（PAC 形式）”を作成するディレクトリとファイル名（デフォルトのファイル名は CboX.pac です）を指定してください。

③本製品をネットワークに接続し、アップロード可能モードにしてください。
“ 更新後に CboX 内アップロードファイルを削除する ” のチェックボックスについては以下を参照してください。
本製品の IP アドレスを入力し、「更新」ボタンをクリックしてください。

【memo】本製品を起動し（コンパクトフラッシュカードが接続されていること）、本体の側面のテストスイッチを約 4 秒間押し続けてください。本体のランプの Power（赤）、Status（緑）が点滅するとアップロード可能モードの状態です。アップロード可能モードになったら直ぐにテストスイッチボタンを離してください。

【memo】“ 更新後に CboX 内のアップロードファイルを削除する ”にチェックを入れない場合は、“ アップロードファイル（PAC 形式）” は削除されずにコンパクトフラッシュカード内に残ります。
この場合、コンパクトフラッシュカードに書き込まれるデータサイズは削除する場合と比べて約 2 倍ぐらいになります。
なお、デフォルトはチェックが入っています。

【アップロードファイルについて】
例えば、パソコンにホームページデータが無くなって再編集したい場合、コンパクトフラッシュカード内に“ アップロードファイル ”があれば以下の方法で再編集することが可能です。

1．本製品から“ アップロードファイル（PAC 形式）” をパソコンに転送する。
転送方法については「5.6 ユーザーホームページの設定＆アクセスカウンタのリセット」を参照してください。

2．ユーティリティをインストールしたフォルダ内にあるファイル復元ツール（unPackHP.exe）を転送してきた“ アップロードファイル(xxx.pac というファイル名／PAC 形式データ) ”が保存されているディレクトリ内にコピーして、unPackHP.exe を実行する。そのディレクトリ内で“ アップロードファイル ”がデータ変換されます。

3．Microsoft 製の FrontPage もしくは IBM 製のホームページビルダーのホームページ作成ソフトにて再編集してください。

(4)ホームページ作成結果画面で、作成結果に問題がなければ「OK」をクリックしてください。

(5)本体へログインするための以下のユーザー名とパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
本製品へホームページデータがデータ転送されます。
- ユーザー名：CboX
- パスワード：corega

本体設定で設定を変更した場合は変更したものを入力してください。

(6) “ ホームページの更新が完了しました。ブラウザにてご確認ください。” のメッセージが表示されたら「終了」ボタンをクリックして本ユーティリティを終了してください。

(7) コンパクトフラッシュカードをパソコンに接続されたコンパクトフラッシュリーダー等に挿入してから、①～③について指定してください。

①「検索」ボタンをクリックし、作成したホームページデータ内の‘ index.htm ’ファイルを指定してください。

②「検索」ボタンをクリックして、コンパクトフラッシュカード内で “ アップロードファイル(PAC 形式)” を作成するディレクトリとファイル名(デフォルトのファイル名は CboX.pac です)を指定してください。

③ “ 更新後に CF 内アップロードファイルを削除する ” のチェックボックスについては(3)の③の内容を参照してください。「更新」ボタンをクリックしてください。

(8) ホームページ作成結果画面で、作成結果に問題がなければ「OK」をクリックしてください。
コンパクトフラッシュカードにホームページデータが書き込まれます。

(9) “ ホームページの更新が終了しました。ホームページの作成結果に問題がなければ CF のアクセスが終了している事を確認し、CF を CboX に戻して電源を入れてください。” のメッセージが表示されたら、「終了」ボタンをクリックして本ユーティリティを終了してください。

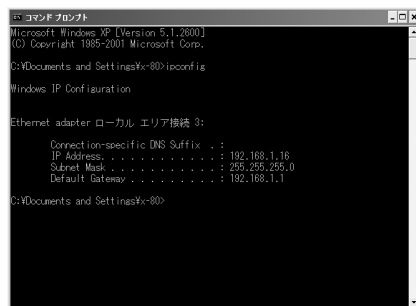
付録

A IP 体系の違いについて

本製品を使用する際に、ブロードバンドルータと TCP/IP 通信を行う必要があります。この場合に、使用しているブロードバンドルータが推奨品（corega BAR SW-4P Pro/corega BAR SW-4P）の場合は、本製品とブロードバンドルータが工場出荷時設定であれば、IP アドレスの設定を変更する必要がなく TCP/IP 通信が行えますが、推奨品以外の製品を使用している場合は、本製品と IP 体系が異なる場合があります。このような場合には、本製品及びパソコンの IP アドレスを変更する必要があります。なお、IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイアドレスを以後、IP/SM/GW と省略して表記する部分がありますので、読み換えてください。

1.パソコンと本製品の通信が行えないときには、先ずはじめにパソコンの IP アドレスを確認してください。通常、ADSL/CATV 環境ですでにインターネットに接続している場合は、DHCP にてブロードバンドルータから IP アドレスを取得しています。
推奨品（corega BAR SW-4P Pro/corega BAR SW-4P）の場合デフォルト設定では、「192.168.1.11～192.168.1.254」の範囲で IP アドレスを提供します。推奨品を使用した環境で、DHCP にて IP アドレスを取得した場合は、下記のようになります。

【Windows98/Me を使用している場合】
「スタート」→「ファイル名を指定して実行」で、「winipcfg」と入力して「OK」をクリックしてください。

【WindowsNT4.0/2000/XP を使用している場合】
「コマンドプロンプト」を起動し、「ipconfig」と入力して実行してください。

本製品のデフォルト設定は、
「IP=192.168.1.9 SM=255.255.255.0 DHCP=無効」となっています。推奨品を使用した場合には、パソコン及び本製品の IP アドレス設定を変更することなく、本製品と通信してその他の必要な設定が行えます。
推奨品以外のブロードバンドルータのデフォルト IP アドレス及び DHCP の提供 IP アドレス範囲にも依りますが、下記に本製品及びパソコンの IP アドレス設定を変更する必要がある例を挙げ、変更方法の概要を記します。

2．winipcfg/ipconfig で確認した結果が、IP=192.168.0.*(*は、DHCP により取得した任意の値)、SM=255.255.255.0 GW=192.168.0.1 であったとします。この場合、SM の設定から、パソコン「IP=192.168.0.*」と本製品「IP=192.168.1.9」の間で TCP/IP 通信を行うことができません。このような場合は、パソコンの TCP/IP 設定で、DHCP を無効（固定 IP アドレスを使用）にし、IP=192.168.1.*(*は、0、9、255 以外の値)に設定してください。

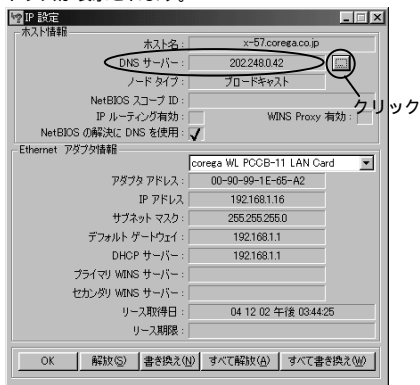
3．次に、本製品の IP 及び GW を変更してください。この例の場合は、IP=192.168.0.9（但し、この値は使用しているブロードバンドルータが DHCP で提供する IP アドレスの範囲には含まれていない値であることを前提とします。）、GW=192.168.0.1 のように変更することになります。本製品の変更方法については、「4 本体詳細設定（応用）」を参照してください。ブロードバンドルータが DHCP で提供する IP アドレス範囲につきましては、ブロードバンドルータのマニュアルなどを参照してください。

4．次に変更したパソコンの設定を DHCP を有効に戻して、Windows98/Me の場合は、再起動してください。NT4.0/2000/XP の場合は、「コマンドプロンプト」を起動し、「ipconfig /renew」を実行して、再度 IP アドレスを取得してください。これで、本製品とパソコンとブロードバンドルータ間の通信が行えますので、本製品に必要なその他の設定を別途実施してください。

B パソコンに設定されているDNS設定の確認方法

プライマリ／セカンダリの DNS サーバーの IP アドレスがどのようにパソコンで設定されているかは、下記の方法で確認できます。

【Windows98/Me を使用している場合】

「スタート」→「ファイル名を指定して実行」で、「winipcfg」と入力して「OK」をクリックしてください。「詳細」ボタンをクリックします。“DNS サーバー”の項目を参照してください。
DNS サーバーが 2 つある場合は“DNS サーバー”項目の右側のボタンをクリックするともう 1 つの DNS サーバーの IP アドレスが表示されます。

【WindowsNT4.0/2000/XP を使用している場合】

「コマンドプロンプト」を起動し、「ipconfig /all」と入力して実行してください。「DNS Servers」の項目を参照してください。

```
コマンド プロンプト
C:¥Documents and Settings¥x-80>ipconfig /all

Windows IP Configuration

        Host Name . . . . . . . . . . . . : X-81
        Primary Dns Suffix  . . . . . . . :
        Node Type . . . . . . . . . . . . : Hybrid
        IP Routing Enabled. . . . . . . . : No
        WINS Proxy Enabled. . . . . . . . : No

Ethernet adapter ローカル エリア接続 3:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        Description . . . . . . . . . . . : corega WL PCC-11 LAN Card
        Physical Address. . . . . . . . . : 00-90-99-1E-65-A2
        Dhcp Enabled. . . . . . . . . . . : Yes
        Autoconfiguration Enabled . . . . : Yes
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.16
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.1
        DHCP Server . . . . . . . . . . . : 192.168.1.1
        DNS Servers . . . . . . . . . . . : 202.248.0.42
                                            202.248.0.72
        Lease Obtained. . . . . . . . . . : 2004年4月7日 18:43:24
        Lease Expires . . . . . . . . . . : 2038年1月19日 12:14:07
```

C 工場出荷時設定への初期化

【本体の工場出荷時設定への初期化方法】

(1)本製品の電源が停止していることを確認して、コンパクトフラッシュカードを本製品から抜いてください。
なお、電源を停止する前に本体の CF ランプ（黄）が消灯していることを確認してください。

(2)本製品のテストスイッチを押した状態で本製品の電源を投入してください。

(3)約 13 秒間、テストスイッチを押し続けると本製品のランプが全点灯（Power－点灯、Status－点灯、CF－点灯）から Power（赤）のみの点灯にかわります。
これで、本体の設定値は工場出荷時設定に戻ったのでテストスイッチを離してください。

【本体の工場出荷時設定への初期化とコンパクトフラッシュカードのフォーマットを同時に行う方法】

(1)本製品の電源が停止しており、コンパクトフラッシュカードが本製品に接続されていることを確認してください。

(2)本製品のテストスイッチを押した状態で本製品の電源を投入してください。

(3)約 13 秒間、テストスイッチを押し続けると本製品のランプが全点灯（Power－点灯、Status－点灯、CF－点灯）から Power（赤）のみの点灯にかわります。
これで、本体の設定値は工場出荷時設定に戻り、コンパクトフラッシュカードはフォーマットされたのでテストスイッチを離してください。

コンパクトフラッシュがフォーマットされると、コンパクトフラッシュ内のデータがすべて消去されますので十分注意してください。

・工場出荷時設定一覧

項目	初期値
IP アドレス	192.168.1.9
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.1
DHCP 動作	無効
プライマリ DNS サーバ IP	255.255.255.255
セカンダリ DNS サーバ IP	255.255.255.255
DHIS ホスト ID	なし
ドメイン名	なし
公開暗号鍵 1～4	なし
DHIS サーバ IP アドレス	255.255.255.255
ブートディレイ	0
現在時刻の変更	0000/00/00(日付) 00:00:00（時間）
時刻更新方法	自動（NTP）
タイムゾーン	大阪、札幌、東京
NTP サーバ	clock.nc.fukuoka-u.ac.jp
ユーザ名	CboX
パスワード	corega

D 製品仕様

項目	仕様
ネットワークインターフェース	Ethernet V.2(IEE802.3) 10BASE-T/100BASE-TX(自動切換)
外形寸法	124(W)x159(D)x41(H)[mm]
AC アダプタ	入力電源電圧：AC100[V](50/60Hz) 出力電源電圧：DC5[V] 電流容量：1.5[A]
本体電源部	入力電源電圧：DC5[V] 最大消費電流：1.0[A]
重量	300[g]（AC アダプタを除く）
使用周囲温度	0～40[℃]
規格	VCCI クラス B

E 保証と修理について

□保証について

本書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損などが見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

□修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、先ず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンタ宛てに製品（付属品一式を含む）を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

・保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。

・弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

・宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。

・修理期間は、製品到着後、約 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

□製品送付先

〒222-0033　横浜市港北区新横浜 1-19-20
㈱コレガ corega サポートセンター宛

F ユーザサポート

障害回避などのユーザサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書の記入について」をご覧ください。

■調査依頼書の記入について

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点に沿って、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付ください。

□ハードウェアとソフトウェア

本製品上に貼られたラベルに記入されているシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev）を調査依頼書に記入してください。

（例）

S/N 0047744990805087 Rev A1

ご使用になっているソフトウェアの種類／バージョン（Ver）を記入してください。これらは、ドライバーディスクのラベル上に記入されています。
他社のブロードバンドルータをご使用の場合は、全てご記入ください。
使用しているパソコンの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

□お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）記入してください。
エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容をプリントアウトしたものなどを添付してください。
障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティやアプリケーションの処理内容もご記入ください。

□ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
他社の製品をご使用の場合は、メーカ名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

■最新ファームウェアの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のファームウェアのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のファームウェアは、弊社のホームページから入手することができます。

Micorosoft Internet Explorer,Netscape Navigator などのWeb ブラウザーを使用して、次のアドレスにアクセスしてください。

http://www.corega.co.jp/

「ダウンロード」→「各種ドライバ」をクリックしてください。ご希望のドライバをクリックしてください。

■corega Net-News のご案内

「corega Net-News」は、株式会社コレガがお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼントなど耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客様は、corega ホームページでご登録ください。なお、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

■おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。

・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。

・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

・本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Windows,Windows98/Me/NT/2000/XP は、米国 Micorosoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカの商標または登録商標です。

G CD-ROM 収録内の素材集について

付属 CD-ROM の“素材集”フォルダ内にある画像素材の著作権、使用条件については Giggurat にあります。ご使用にあたっては同フォルダ内にある“フリー素材集 壁紙工房 Giggurat/Information.htm”(もしくは以下の URL を参照)の“著作権、使用条件について”をご一読し、同意の上で使用してください。

URL http://www.chaldea.ne.jp/atelier/index.shtml

2002 年 6 月 Rev.A 初版

調査依頼書（corega CboX）

年　月　日

一般事項

1． 会社名（個人名）：

部署名：　　　　　　　　　　　　フリガナ：ご担当者：

ご連絡先住所：〒

TEL：(　　　)　　　　　　　　　FAX：(　　　)

2． 購入先：　　　　　　　　　　購入年月日：

購入担当者：　　　　　　　　　　購入先 TEL：(　　　)

ハードウェアとネットワーク構成

1．ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン、ファームウェアバージョン

製品名：corega CboX

ファームウェアバージョン

Ver.____________________

S/N______________________ Rev____

2．接続形態とご契約のインターネットサービスプロバイダー（ISP）名またはケーブルテレビ（CATV）名

□ＣＡＴＶ　　　　　　　　　　　□社内ＬＡＮ

□フレッツＡＤＳＬ　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　）

□ＡＤＳＬ事業者　　　ご契約のＩＳＰ／ＣＡＴＶ名（　　　　　　　　　　）

3．お問い合わせ内容　　　　　　□別紙あり　　　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　　　□設置後運用中に起こっている障害

4．ネットワーク構成図　　　　　□別紙あり　　　□別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入お願いします。

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

・ハードウェア本体：製品保証書に記載の“ 保証期間 ”で無償保証とします。
（ただし、本規定の他の条項に準じます。）
・電源アダプタ：１年保証
・本体付属品（ユーティリティ CD など）：３ヶ月保証

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問合せ先」まで故障製品を送付してください。
送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）
１．使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
２．お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
３．火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
４．接続された他の装置が原因で生じた故障および損傷
５．車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
６．消耗品の交換（バックアップ電池など）
７．製品保証書の提示がない場合
８．製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書（1年保証）

この製品保証は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製品名　corega CboX
シリアル番号（S/N）
ご購入日
販売店様印

※本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。

※製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。